

各校の成果と課題、「今後、力を入れて取り組む内容」

小学3年生

学 校	教 科	成果○と課題●	今後、力を入れて取り組む内容
川之江小	国 語	○ 既習漢字の正しい読み書きができています。 ○ 理由を明確にして文章を書くことができています。 ● 話の内容の聞き取りに課題が見られる。 ● 説明文の内容を正しく読み取ったり、条件に応じて文章を書いたりすることが苦手な児童が多い。	・ これまでの学習を丁寧にし、基礎学力の定着を目指す。(音読・読書・漢字練習・ローマ字) ・ 内容のまとまりを意識して読んだり書いたりできるようにする。 ・ 文章の読み取り問題を解く機会を増やす。 ・ 大切なことを箇条書きでメモする練習をする。
	算 数	○ 掛け算や割り算の計算がよくできています。 ○ 表やグラフを読み取ったり、円と球の半径や直径を求めたりすることができています。 ● 時間や道のりの計算、足し算や引き算の筆算が正確にできていない児童が多い。	・ 学習内容の定着を図るために、既習事項の復習プリントや学習支援アプリ等を活用する。 ・ 筆算を正確に書いて答えを求める力を身に付ける。 ・ 学習したことを日常生活に結び付け、活用力を伸ばしていく。
金生第一小	国 語	○ 漢字の読み書きの基本は身に付いている。 ○ 物語文の読解ができる。 ● 漢字の音訓の識別は苦手である。 ● 文章の要旨(一番伝えたいこと)を把握し、問われていることに自分の言葉で答えることが苦手である。 ● 定められた条件を満たして、文章を書くことに課題がある。	・ 小テストや宿題の漢字練習で、音訓を意識させる課題を出し、理解を深められるようにする。 ・ 音読指導を続け、文意を読み取る力を育む。 ・ 読解プリントに取り組み、読解の仕方やキーワードの捉え方の練習をする。 ・ 授業の最後のまとめや振り返りを書く際に、条件を満たしながら書く練習を行う。
	算 数	○ 掛け算や割り算の計算問題を確実に解くことができる。 ○ 円の意味を理解し、正確に円や三角形の作図ができる。 ● 繰り上がり・繰り下がりが複数含まれる筆算を解くことが苦手である。 ● 文章に書かれた情報をイメージして、()を使った式に表すことに課題がある。 ● 計算方法を文章にして説明する問題の正答率が低い。	・ 3年で学んだ加減計算の筆算を反復練習し、習得させる。 ・ 文章に書かれた情報を頭の中で整理し、どんな式になるのか、更に効率よく計算するためにはどんな式にすれば良いのか考える問題に取り組ませる。 ・ 文章問題に取り組み、数量関係を捉え、式に表す経験を積ませる。逆に、計算式から、文章を作る学習にも取り組み、文章と計算式のつながりを理解させる。
金生第二小	国 語	○ 話合いの内容を聞き取ることがほぼできている。 ○ 物語の内容を読み取り、登場人物の気持ちを基に問題を解くことができています。 ● 説明文を読み取り、要約する力に課題がある。 ● 様子や行動を表す語句の量や、語彙が少ない。	・ 文章を書く際、キーワードとなる語句を示し、考えを短くまとめる活動を継続して行う。 ・ 語彙を増やすため、いろいろなジャンルの本を読み、みきゅん通帳に記入する活動を継続して行う。 ・ 言語活動を行う際、中心となる語や文を意識させる。 ・ 国語辞典を活用し、文章中の意味調べを行い、読み取る力や語彙を増やす。
	算 数	○ 10000 より大きい数の表し方や大きさを理解している。 ○ 余りがあるわり算や、繰り上がりのあるかけ算など、基本的な四則計算ができています。 ● 表の値を読み取り、グラフに表すことに課題がある。 ● 文章問題を式に表し、解く力に課題がある。	・ 一目盛りあたりがどのくらいの大きさを表しているかを確認し、グラフに表す練習を継続して行う。 ・ 文章問題を解く際、計算のきまりを確認し、立式の理由を説明する場を設定する。 ・ 計算した後、確かめを行う習慣を付けることで、計算のきまりを理解できるようにする。
上分小	国 語	○ 文章を書く設問においては市の平均を上回っています。思いや考えを文に表す力が身につけてきています。 ○ 話すこと・聞くことについては市の平均を上回っています。 ○ 自分の考えを伝え合う活動が成果に繋がっています。 ● 漢字の読み書きの定着に課題があります。 ● 説明文の内容を読み取ることや、必要な情報を基にして文を書くことに課題があります。	・ 文字練習や漢字プリントでの学習を通して、既習の漢字の読み書きの練習問題を繰り返し行い、基礎的な力の定着を促します。 ・ 中心となる語や文を捉えられるよう、大切な言葉に線を引いて読ませたり、要約したりする機会を増やします。 ・ 字数指定などの条件を読み取って文章を書かせる機会を増やします。

上 分 小	算 数	○ 算数全体では、市の平均点と比較して同程度の結果でした。 ○ 図形や測定の分野は、市の平均を上回っています。図形や測定分野の基礎的な内容は確実に身に付いてきています。 ● 余りのある割り算や乗法の分配法則など、基礎的な計算問題でつまずきが見られます。 ● 文章問題を正しく読み取り、適切な立式をして計算することに課題があります。	・ 余りのあるわり算など基礎・基本の問題を繰り返し学習するとともに、既習の学習内容についても振り返り、復習します。 ・ 式から文章問題を作ったり、作った文章問題を友達と解き合ったりして式と文章で表現した状況を式や図を使って自分の考えを表現する学習を行います。 ・ 分配法則の考え方を確認するとともに、分配法則を利用する問題に取り組みます。 ・ 様々な形式の文章題を解くことで問題を解く経験を増やし、自信を持って取り組めるようにします。
南 小	国 語	○ 全体的によくできていました。 ○ 自分の考えを理由や事例を明確にして書くことが、よくできていました。 ○ 物語の内容を正しく読み取る力が付いてきています。 ● 聞き取りの問題では、話合いの内容から、意見の共通点を見付けることに、課題が見られました。 ● 漢字の音訓や行動を表す語句など言葉の問題に課題が見られました。	・ 話合い活動を多く取り入れ、共通点や相違点を見付けながら、相手の思いをしっかりと聞く力を付けていきます。 ・ 朝スキルの時間や宿題で、プリントやeライブラリ等を活用し、様々な言葉の問題に取り組み、定着を図ります。
	算 数	○ 全体的によくできていました。 ○ 文章問題の題意を捉えて式に表すことが、よくできていました。 ○ 棒グラフの1目盛の大きさなど、棒グラフについてよく理解しています。 ○ 答えの確かめ方など、文章で説明する力が身に付いています。 ● 数直線に示された数の読み取りや余りのある割り算の計算に課題が見られました。 ● 文章を読んで、場面に合う式を選ぶことに課題がありました。	・ プリントやeライブラリ等を活用し、繰り返し復習を行い、基礎基本の定着を図ります。 ・ 必要な情報を整理したり、自分で表したりする力の育成に努めます。
川 滝 小	国 語	○ 言葉の学習について、正しく理解しています。 ○ 物語の内容を、正確に読み取れています。 ● 漢字の読み書きが十分定着していないようです。 ● 説明文では、段落ごとの内容を要約する力が十分定着していないようです。	・ 文字のけいこで、繰り返し漢字の練習をしています。 ・ 読書活動において、いろいろな種類の本に親しむ機会を増やしていきます。 ・ 新聞づくりや日記などを通して、説明文の内容を要約する力を身に付けていきます。
	算 数	○ 基礎的・基本的な学習が身に付いています。 ○ 正確に計算問題を解くことができます。 ● 文章問題を正しく読み取り、解く力が十分身に付いていないようです。	・ 文章問題の小テストを繰り返し行い、題意を捉えて立式する力を付けていきます。 ・ 言葉や絵、図や数などで、書いたり、説明したりする練習を行います。
妻 鳥 小	国 語	○ ローマ字で表記されたものを正しく読むことができています。 ○ 話の中心を明確にするための話し手の工夫を捉えることができています。 ● 書いてある事柄を正確に理解し、要約することに課題がある。 ● 指定された長さや、段落の構成を考えて文章を書くことが苦手である。	・ 漢字の読み書きを中心に、学習の基礎・基本がしっかりと定着するように、引き続きスキル学習や家庭学習などで繰り返し学習していきます。また、意味調べの活動を通して、正しい言葉の使い方を学習し、語彙を増やしていきます。 ・ キーワードを使って学習内容をまとめたり、自分の思いを書いたりすることで、自分の思いや考えを表現する力が身に付くように努めます。
	算 数	○ 基礎的な四則計算を正しくすることができている。 ○ 大きな数を表すことができています。 ● 棒グラフの読み取りが不十分である。 ● 計算の仕方や式の意味を場面と結び付けて説明することに課題がある。	・ 計算ドリルやプリント等を活用し、基礎的・基本的な計算問題を繰り返し行い、基礎学力が一層定着するように努めます。 ・ グラフを描いたり、読み取ったりする問題を解く機会を確保していきます。 ・ どのように立式し、答えを出したのか理由を交流する機会を設定し、自分の考えを順序立てて説明できるように努めます。

松柏小	国語	○ 学習した漢字を読む力が定着している児童が多い。 ○ 話合う様子を聞き、大まかな話の内容を理解することができていた。 ● 漢字の音読み・訓読みの違いや、ローマ字の読みなど、言葉に対する理解に課題が見られた。 ● 文章を細かく読み取ったり、要約したりすることが苦手な児童が多い。 ● 指定された条件に合わせて自分の考えを書くことが苦手な児童が多い。	・ 漢字読み書きの力については、「今日の漢字」を連絡帳に書く活動を継続し、定着を図る。 ・ 漢字の音訓やローマ字の読みについて、授業や朝のモジュール学習で復習問題に取り組む。 ・ 段落の内容を指定し、条件に沿って文章を書く活動を継続して行い、苦手意識を軽減できるようにする。
	算数	○ 基本的な計算の技能が身に付いている児童が多い。 ○ 円と球に関する問題の正答率が高かった。 ○ わり算を使う文章問題の正答率が高かった。 ● 数直線上の大きな数を読み取ることが苦手な児童が多い。 ● 繰り下がりが複数ある引き算の筆算が苦手な児童が多い。 ● グラフを読み取る問題が苦手な児童が多い。	・ 数直線やグラフの読み取りやなど、課題が見られた単元については、授業や家庭学習を通して、習熟を図る。 ・ 基礎・基本の計算問題を、朝のモジュール学習や、「今日の1問」で取り上げ、練習する機会を確保する。 ・ 文章問題の数値や問われていることに線を引いて式を考える活動を今後も継続して行い、式の根拠を考える力を高める。
三島小	国語	○ 中心となる文を見付けて要約する問題ができていました。 ○ 内容の中心を明確にし、自分の考えを書く問題の正答率が高かったです。 ● 様子や行動を表す語句の量を増やし、語彙を豊かに活用する問題に課題が見られました。 ● 情報と情報との関係について理解し、考えとそれを支える理由との関係を明確にして書く問題に課題が見られました。	・ 新出漢字の学習では、読みと意味を確認し、練習を繰り返すことで、漢字の読み書きの定着を図ります。 ・ 音読や並行読書を常に取り入れることを通して、語彙を豊かにしていきます。 ・ 自分の考えや集めた情報を示された条件に合うように書く活動を通して、文章に書き表す力が身に付くように努めます。
	算数	○ わり算の文章問題の答えを求め、あまりの正しい処理ができていました。 ○ 時間の単位の間隔を理解し、秒を分と秒に直す問題の正答率が高かったです。 ● 乗法の式に合った文章問題を選ぶ問いの正答率が低かったです。 ● () を用いて1つの式に表した3つの数の乗法について、場面に合う式を選ぶ問題で課題が見られました。	・ 学力の定着を更に図るために、図形や測定の学習では、具体的な操作活動や量感を高める活動を取り入れます。 ・ 九九を用いた立式の理解を深め練習問題を解く活動を通して、基礎的な計算の定着を図ります。 ・ グループ学習やペア学習、ICTの活用などを取り入れながら、解き方を説明する活動を通して、数学的なものの考え方ができるように努めます。
中曽根小	国語	○ 教科の正答率は、全国平均・市平均ともに上回っている。 ○ 漢字を読んだり、正しく書いたりすることができている。 ○ 文字数や段落などの条件に即した文章を書くことができています。 ● 話合いの内容を聞き取って、意見の共通点や話し手の工夫を見付けることに課題がある。 ● 物語や説明文の内容について叙述を基に捉えることが苦手である。 ● 漢字の音読みと訓読みを理解できていない。	・ 基礎的・基本的な学習を継続して行い、定着を図る。 ・ 教師が連絡事項等を児童に伝える時に、メモの取り方を練習することで、要点を捉えて聞き取る力を育てていく。 ・ 簡単な説明文や物語文を読ませ、叙述を基に考える活動を定期的に取り入れる。 ・ 漢字を学習する際には、音訓を意識させ、熟語を考えたり短文を作ったりする活動を取り入れる。
	算数	○ 正答率は、全国平均・市平均ともに上回っている。 ○ 文章問題を読んで、かけ算やわり算の立式をしたり、正しく計算をしたりすることがおおむねできている。 ○ 棒グラフの一目盛りの大きさを理解したり差を読み取ったりすることができている。 ● コンパスを使って模様を描くことや等しい長さを見つけ出すことに課題がある。 ● 二つの時刻を比較して、その間の時間を求めることに課題がある。	・ 復習プリントやタブレット端末を活用して、基礎的・基本的な学習を継続して行い、定着を図る。 ・ 学期末の復習の際に、「円と球」の学習に関する問題を重点的に行う。 ・ 日常生活の中で、時刻や時間に関する言葉掛けを行うことにより、時間を求める力を伸ばしていく。
中之庄小	国語	○ 話し手が伝えたいことを正確に捉えたり、話の中心を明確にするための話し手の工夫を捉えたりして聞くことができています。 ○ 説明文の叙述を基に文章の内容をおおむね捉えている。	・ 普段の学習の中で語句調べを取り入れ、国語辞典の使い方に慣れさせると共に、語彙を増やす。 ・ 学校での読書時間を確保したり、宿題として読書を取り入れたりすることで、様々な分野の文章に慣れる機会をつくる。

中之庄小	国語	● 言葉の学習の定着が不十分である。 ● 叙述を基に登場人物の気持ちを読み取ることが苦手な児童が多い。 ● 指定された長さで文章を書いたり、段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書いたりすることが苦手である。	・ 文字数やキーワードなどの条件を提示して文章を書く活動を取り入れる。
	算数	○ 文章問題を解くためにかけ算やわり算の立式がおおむねできている。 ○ 身近にあるものの長さを推察して、適切な単位を使うことがおおむねできている。 ● 1万より大きい数の数の概念の理解が十分でない。 ● 四則計算の基本的な計算力が十分でない。 ● かけ算やあまりのあるわり算を活用する文章問題が苦手な児童が多い。	・ 朝ドリルやChromebookを使つてのドリル学習を繰り返し行い、基礎・基本の定着を図る。 ・ 個別学習や放課後学習を充実させる。 ・ 文章問題に取り組む際、自分の言葉で解き方を説明したり、文章化したりする活動を多く取り入れる。
寒川小	国語	○ 物語の内容を読み取る際は、登場人物の気持ちについて、叙述を基に捉えることができています。 ○ 段落の構成について理解し、2段落構成で文章を書く力が身に付いています。 ● 言葉の学習において、様子や行動を表す語句の理解に課題が見られました。 ● 司会の役割を果たしながら話し合い、意見の共通点に着目して答える問題に課題が見られました。	・ 言葉の学習において語彙量を豊かにするために、国語辞典を活用したり、読書をする時間を多く設けたりするなど、言葉に触れる機会を増やしていきます。 ・ 朝学習やスピーチの時間には、聞き手に分かりやすく話したり、話し手が伝えたいことを捉えたりする学習の機会を増やしていきます。
	算数	○ かけ算やわり算など基本的な内容がよく理解できていました。 ○ 文章問題を解くために正しく立式して計算することができています。 ● 繰り上がり、繰り下がりのある計算や、計算の仕方を文章で説明することに課題が見られました。 ● 時刻や時間、長さの学習の理解に課題が見られました。	・ 正確に計算できるように、復習プリントやドリル型学習ソフトウェアを活用し、学習内容を定着していきます。 ・ 授業において、計算の仕方を言葉や文章で表現し、説明する機会を増やします。 ・ 時刻や時間、長さを日常生活の場面と結び付けて考える力を養っていきます。また定期的に復習問題を取り入れていきます。
豊岡小	国語	○ 既習の漢字を書くことは概ね良好な傾向にある。 ○ 求められている情報を整理して、理由を明確にしながら文章を書くことの正答率が高い。 ● 話を聞き取り問われた内容について答える力がやや弱い。 ● 説明文を読み、内容をとらえて答えることに課題がある。 ● 物語文において、叙述を基に、文章の内容や登場人物の気持ちを理解捉える力は不十分である。	・ 漢字ドリルの反復練習により既習の漢字の読み書きの定着を図る。 ・ フリートークの時間に話しているテーマを話し合いが深まりそうなものに設定し、今まで以上に相手の話を聞いて話の内容を理解できるようにする。 ・ 様々なジャンルの本や文章を読んで読解力を身に付けさせるため、本を読むたび電子みきゅん通帳を活用したり、eスタの記事を読む機会を多くしたりする。 ・ 授業においては、ワークシートや発問を工夫し、内容や登場人物の気持ちを押させやすくするような授業を行う。
	算数	○ 3桁×1桁のかけ算の正答率が高い。 ○ わり算に関する文章問題の立式及び解答することはおおむね理解している。 ● 大きな数の構成について理解が不十分であり位取りしたり、数直線上に示したりすることに課題がある。 ● 余りのあるわり算のたしかめ算を説明するなど解き方を説明することに課題がある。 ● 円の半径や直径を理解しコンパスを使って、問題を解く力が弱い傾向にある。	・ かけ算やわり算の問題を計算ドリルやeライブラリを活用し、反復練習し基本的な計算の定着を図る。 ・ 授業での復習の時間に使用するワークシートを工夫し、数直線を用いた問題に数多く取り組み、数の概念が理解できるようにする。そして家庭学習にも取り入れ定着できるようにする。 ・ 授業で解答を導いた方法をペアやグループで話し合う時間を多く取り入れたり、解き方をノートやワークシートに書かせたりする活動を多く取り入れる。 ・ 授業での復習の時間にコンパスを用いた問題に数多く取り組み、図形に慣れさせる。そして家庭学習にも取り入れ定着できるようにする。

新宮小	国語	○ 全体的に良好な状況にあります。漢字を読んだり書いたりする力が身に付いています。漢字の音読みや訓読みの区別ができ、ローマ字の読み書きもできています。 ● 話合いの様子の記述を読みながら、話し手が伝えたいことの中心を捉えたり、話の中心を明確にするための工夫を捉えたりする力が十分でありませんでした。	・ 漢字の読み書きや言葉に対する理解は大切な基礎学力ですので、漢字や言葉の練習や読書活動に今後も丁寧に取り組んでいきます。 ・ 実際に話合いを行う場面を設定し、経験を通して、話す力、聞く力の育成に努めます。また、発表の際には、話の中心を意識した話し方や聞き方を重視していきます。
	算数	○ 全体的に良好な状況にあります。基本的なたし算やひき算、かけ算、わり算の計算を正確にできています。また、文章問題についても、式を立てて正しい答えを求められています。 ● 2つの時刻を比較して、その間の時間を求めたり、棒グラフから差を読み取ったりする問題に課題が見られました。	・ 今後も計算練習を定期的に行い、問題を解くためのスキルを確実に身に付けていきます。 ・ 各単元の内容について、今回課題が見られた部分を中心に、自信を持って取り組めるよう、復習を行います。
長津小	国語	○ 第2学年までに学習した漢字を正しく書くことができます。 ○ 指定された長さで文章を書くことができます。 ● 第3学年で学んだ漢字を正しく読むことに課題があります。 ● 説明文や物語を読み取ることに課題があります。 ● 国語辞典の使い方と語彙の理解に課題があります。	・ 漢字スキルや学習支援アプリを活用し3年生の漢字の復習を行います。 ・ 日記指導やノート指導を通して、段落を意識した文章構成の指導に努めます。 ・ 国語辞典を使って、使い方の復習を行うとともに、意味調べなどを通して様々な語彙に触れることができるように指導していきます。 ・ 様々なジャンルの読書を継続していきます。
	算数	○ 円の半径やコンパスの使い方について理解できています。 ○ 棒グラフの1目盛の大きさや棒グラフの差を読み取ることができています。 ● 10000より大きい数の表し方や理解に課題があります。 ● 文章問題について、四則計算を使って計算する場面の理解に課題があります。	・ プリントやスキル、学習支援アプリなどを活用し、1、2学期に学習したことを復習し、知識の定着を図ります。 ・ 文章問題を解く際には、問題場面がイメージできるようにイラストを掲示したり、具体物を用いたりしながら図や式、言葉などで解き方を考えていけるように視覚的な支援をしていきます。
小富士小	国語	○ 既習漢字を正しく書き取ることができた。 ● 漢字の音読みと訓読みについての問題の正答率が低かった。 ● 言葉の学習では、様子や行動を表す語句についての問題に対する正答率が低かった。	・ 文章を読む活動を増やすことで、漢字の読み方の理解を深め、様々な語句の使い方を学習し、日常での語彙を増やしていく。 ・ 自分の中の思いや考えをまとめることを苦手とする児童が多いため、グループで話し合う活動を通して、自分の意見と友達の意見を伝え合い、思いや考えをまとめる機会を増やしていく。
	算数	○ かけ算・わり算の問題を正しく計算することができた。 ● 繰り上がり、繰り下がりのあるたし算・ひき算の計算問題の正答率が低かった。 ● コンパスが使われている問題など、長さについて問われる問題の正答率が低かった。	・ 筆算を使った計算をする際に、繰り上がり、繰り下がりをおぼえてしまったり、位を間違えて計算してしまったりする場面が見られるため、計算問題を復習し、問題の見直しの習慣を身に付けさせる。 ・ 文章問題に課題が見られたので、文章を読み取り、問題で聞かれていることを理解して答えを求められるよう、文章問題の復習を行う。
北小	国語	○ 既習の漢字を正しく読んだり、書いたりすることができています。 ○ 相手や目的を意識した表現になるように文章を考えることができます。 ● 説明文の内容を読み取り、叙述を基に内容を捉えることに課題が見られます。 ● 与えられた文字数で文章を書いたり、自分の考えを書いたりすることに課題が見られます。	・ 今後も、宿題の漢字練習を継続したり、既習の漢字を用いて文章を書いたりしていきます。 ・ 相手や目的を意識した文章を考えられるよう、作文や練習問題を行う中で定着させていきます。 ・ スキル等で読解問題に取り組み、文章を読み取る力を身に付けていきます。 ・ 文字数を指定した作文や、自分の考えを書く活動を取り入れていきます。
	算数	○ 既習のたし算やひき算、かけ算やわり算の計算ができています。 ○ 棒グラフを正しく読んだり、グラフを書いたりすることができています。 ● 1万より大きい数について課題が見られます。 ● コンパスを使った長さ比べや作図に課題があります。	・ 今後もスキル等を活用し、基礎基本の定着に努めます。 ・ 位取りをしたり、正確に目盛りを読んだりできるよう、復習の時間を取り入れます。 ・ コンパスの使い方について再度確認し、作図などの練習問題を取り入れていきます。

土居小	国語	○ 既習の漢字を正しく読むことに関する正答率が高い。 ○ 国語辞典の使い方に関する正答率がやや高い。 ● 既習の漢字を正しく書くことや、様子や行動を表す語句に関することに課題がある。 ● 段落の役割について理解し、指定された長さで書くことに課題がある。	・ 漢字の復習や読み聞かせ、読書時間の充実を図り、漢字や言葉に親しむ活動を取り入れる。 ・ 文章を読み取る際、線引き学習をして中心となる語や文を見付けて様子や行動を表す語彙を増やす。 ・ 段落を意識して書く活動を国語科の単元と合わせて行うことで、書くことに慣れるようにする。
	算数	○ 文章問題を読み取り、割り算の立式をする問題について正答率が高い。 ○ 球の直径から、球が2つ入った箱の辺の長さを求める問題について正答率が高い。 ● あまりのある割り算の計算方法の理解に課題がある。 ● 掛け算を用いた問題を理解し、説明する力に課題がある。	・ 割り算の計算方法を復習し、基礎的・基本的な内容の定着を図る。 ・ 文章問題を読み取る際、必要な語句や数に印を付け、掛け算の仕組みについて理解を深める。 ・ 文章問題を解いた後、他者へ説明する活動を授業で取り入れ、説明する力の向上を図る。また、発表の際に、理由や条件を付けて話す活動を積極的に取り入れる。
関川小	国語	○ 第3学年までの配当漢字を正しく書いたり読んだりすることができている。 ○ 物語の内容を読み取ることができている。 ○ 複数の条件の下で文章を書くことができている。 ● 漢字の音読みと訓読みやローマ字表記の理解に課題がある。 ● 国語辞典の使い方の理解に課題がある。	・ ドリル型学習ソフト等を活用して、音読みと訓読みの練習をしたり、ひらがなをローマ字表記に直したりする学習を積み重ねる。 ・ 授業でも、国語辞典を引く機会を増やし、国語辞典の使い方に慣れさせる。
	算数	○ 表と棒グラフを正しく読み取ったり、表の値を棒グラフに正しく表したりすることができている。 ○ 時間の単位を理解し、秒を分に直したり、2つの時刻の間の時間を求めたりすることができている。 ● 割り算の文章問題において、立式したり正しく計算したりすることに課題がある。 ● 問題の解き方などを言葉で説明することに課題がある。 ● 乗法のきまりや分配法則の理解に課題がある。	・ 立式の理由や意味を考える活動を取り入れ、言葉や図を使って説明することができるようにする。 ・ ドリル型学習ソフト等を活用して、基本的な学習内容が定着するようにする。